



いつも一緒に過ごしてきた机 感謝の気持ちを込めてリニューアル

3月12日、大村小学校（すぎやまあきこ 杉山昭子校長）で、アイカ工業（株）による子どもたちの机を直すボランティア活動が行われました。この活動は、子どもたちに、物を直して長く大事に使う大切さを学んでほしいという思いから実現したものです。6年生53人が、楽しみながら一生懸命作業に取り組みました。「修繕作業は、僕たちにとってすばらしい思い出になりました。下級生たちにも、大切に使ってほしいです」と児童は話してくれました。



波山と時間を共有したお手伝いさん 心温まるエピソードを語る

3月3日、アルテリオで下館・時の会（いちきつとむ 一木 努 会長）主催による「第16回波山の夕べ」が開催されました。このイベントは毎年波山の誕生日に行われています。今回は初公開となる「板谷波山先生米寿記念祝賀会」が上映されたあと、住み込みでお手伝いをしていた（ながつか こ 長塚アイ子さん（写真左）と渡辺朝子さん（写真右）をゲストに迎え、トークショーが行われました。2人は「先生は温厚な人で、怒られたことはありませんでした」などと、波山との思い出を語ってくれました。



春の訪れを感じる ヒロサワ梅まつり

3月9日、ザ・ヒロサワ・シティ（茂田）で梅まつりが開催されました。満開を迎えた約300本の白梅・紅梅を一目見ようと、約2,500人が会場に訪れました。

会場では、無料で振舞われたバーベキューや多彩なステージ発表、北斗星の車内公開、バナナ園見学などが催され、訪れた人たちにとって、大満足の1日となりました。



ジャズの音色に聴き入る ひととき

2月17日、笑店街プロジェクト（ひらさわよういち 平澤洋一 会長）主催による「筑西ひなめぐりジャズコンサート」が開催されました。会場では、明野中吹奏楽部や下館工業高ジャズバンド部などのほか、ゲストとしてジャズピアニストの宮本貴奈さんとヴォーカル & フリューゲルホーン奏者のTOKUさんが出演し、集まった観客は、素敵なジャズの音色を楽しみました。



史学博士・糸賀さんが講演 協和地区の歴史を紐解く

2月16日、協和公民館で、市文化協議会協和支部（つかだかつお 塚田勝雄 支部長）主催による、文化講演会「旧協和町域の歴史点描」が開催されました。

糸賀茂男教授のユーモアを交えた分かりやすい歴史解説を、200人の参加者が熱心に聞き入りました。また、読み聞かせの会「てるて姫」による『小栗判官物語』の紙芝居も行われ、その世界観に浸りました。